

## 2024/25 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

FIS 関連規定に関しては、SPECIFICATIONS FOR ALPINE COMPETITION EQUIPMENT を参照にしている。スキー用具に関する規定は、ここに記載があるため、疑義が生じた場合は必ず目を通すこと。なお訳文と原文とに相違がある場合は、原文を優先する。

特に記載のないものは FIS 規定に準拠するものとする。SAJ 特別規定については別途記載する。この共通事項と各年代別のものを両方参照すること。

### 用具について (抜粋)

1. スキー板について 各年代別のページを参照すること。なお購入の際には用品ルールに精通した販売店と相談をし、年代別 FIS 規定に適合したものを購入すること。
2. ビンディングについて プレート類を取り付ける際、スキー滑走面からブーツソールまでの高さは最大 50mm とする。
3. スキー靴について ブーツソールから踵の下まで、すべての部品を含めた厚みは最大 43mm とする。(許容値+0.5 mm)
4. レーシングスーツについて SL を除くすべての FIS および SAJ レースで使用されるレーシングスーツは、FIS 規定の空気透過率基準をクリアしなければならない。  
 ※SAJ 公認レースにおける特例
  - ・全ての SAJ 公認レースにおいて FIS ラベルのあるスーツを着用すること。ただし K1、K2 およびマスターズにおいては除外とする。
5. ヘルメットについて 全ての FIS および SAJ 公認大会では、新規格対応表示 (FIS ステッカー [RH2013]) が明示されているヘルメットの着用を義務とし、DH、SG、GS 競技に適用される。メーカー公式付属品以外の装着は禁止とする。SL では、ヘルメットの耳部分のソフトパッドの使用を認めるが、EN1077 または ASTM2040 認証が必須である。  
 ※SAJ 特別規定 SL の FIS 規定については推奨とする。ナショナルエンブレムの貼付はナショナルチーム及び日本代表チームとして海外で競技に参加する場合は必須とする。ただしナショナルエンブレムを貼付せず、ヘッドスポンサーステッカーを貼付する場合は、前面におおよそ高さ 5cm のスペースを空けること。
6. バックプロテクターについて U16 以下はバックプロテクターの使用を推奨する。
7. 2024/2025 SAJ公認大会及びFIS公認大会のSG種目において使用できるスキーについて  
**SAJ公認レース** K2以外のSAJ公認大会SG種目において使用可能なスキーは、SAJ特別ルールの数値のうち、《長さ》・《ラディウス》が記載されていれば良いものとする。  
**FIS公認レース** マスターズを除くFIS公認大会で使用可能なスキーには、以下のいずれかが記載されていなければならない。  
 ○長さ・ラディウス(R)・ウェスト幅(WW)・ショルダー幅(トップ幅WS) 4つの数値記載  
 ○FIS ラベルのマーキングプリント

## 2024/25 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2012	U14
2011	U14
2010	U16
2009	U16

SAJ

学年	レース区分	国スポ
1 学年	K2	参加不可
2 学年	K2	参加不可
3 学年	K2	少年組

スキーについて：

### 1. SAJ 特別規定

K2 においては FIS U16 規定を適用する。

ただし SG に関しては推奨とする。SG スキーは男女とも長さ 175cm 以上、ラディウス 27m 以上とする。

### 2. 共通事項

スキーのウェスト幅 65mm 以下 (SG / GS)

### 3. 個別事項

FIS U14 規定	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

\*SAJ 公認大会においては体格、体力、技能に適応したスキーを使用すること。

FIS U16 規定	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上